

「おはなしメリーゴーランド」で子どもの想像力を育ててほしい どの子にもすばらしい個性がある

幼児の思いやりの心を育てる教育プログラムと
楽しい教材「おはなしメリーゴーランド」が、
2年の歳月を経て完成しました。
改めて、監修とキャラクター開発をお願いした
有賀忍先生(板絵画家・江戸川大学客員教授)に、
制作裏話と、有賀流の教育論をお聞きしました。

「おはなしメリーゴーランド」 はどんな教材？

さつと取り出せ、空いた時間に活用でき、子どもたちの発想を引き出す素
材のようなツールです。考案、制作には、
作り手側も既成概念にとらわれない、自

由な発想が必要でした。

文字のない4つの場面を回転させ、子
どもたちに問いかけたり、反応を見なが
ら、自由にお話を進めることができます。
話が完結しなくても、子どもたちが飽き
ずに集中して、盛り上がりればOKです。

実際に使用した幼稚園の先生もおっ
しゃっていましたが、子どもたちに話し
手になってもらうのもおもしろいかもし
れません。子どもはどんな奇想天外な
ストーリーを作りますから。「おはなし
メリーゴーランド」を導入として、子ども
の豊かな想像力を引き出してほしいです。

個性的なオリジナル キャラクターに 込めた意図

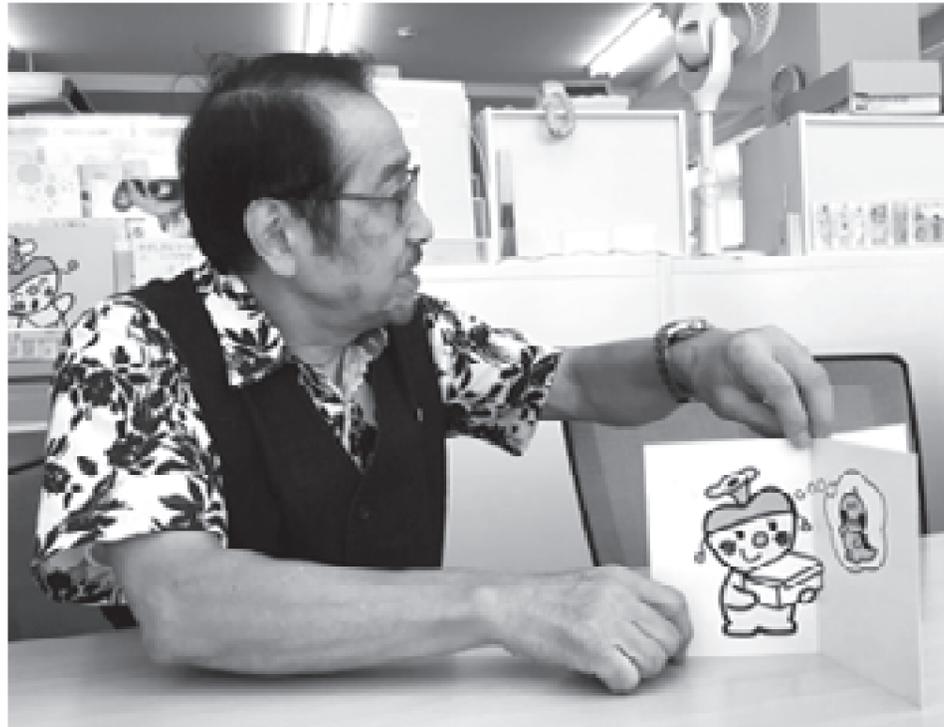
子どもたちを話に引き込む
ためには、自分の分身のよう
に感じられるキャラクターが
あるとスムーズにいきますが、
見慣れている動物ではちよつ
と弱いと思い、「ハナちゃん
」と「アカチン」という創
作キャラクターを二人誕生さ
せました。「ハナちゃん」は、
やさしくて人に親切にする
のが大好き。でも、ちよつと
うっかり者。それをしっかり
者の「アカチン」が助けます。

どもは、一人ひとりみんな違
います。個性を否定せず、認
めて伸ばしてほしい。

運動本部主催の工作教室でも、先生や
保護者について「もつこうしたら？」と指
導したり、作品を評価したりしがちな
ですが、それは絶対やめてください、と
伝えています。自由にやらせて、ほめて
あげるのが、大人の役割だと思います。

作品だけでなく「よくやったね、よく
できたね」と制作の過程もほめることで、
達成感が生まれ、自己肯定感につながり
ますし、認められたことにより、その先
の制作に対する「勇気」がわいてくるの
です。

ほめることが、子どもの心を育てる最
大の栄養になりますよ。



注1:「こんなこいるかな」
有賀先生の代表作で、1986年よりNHK「おかあさんと
いっしょ」の中で放送されたアニメ。異なる個性の12人の
キャラクターが登場する。絵本も44巻出版。

子どもの心を育てるために 大切にしたいこと

「こんなこいるかな」(注1)には、「子ど
ものあるがままの姿を認めてあげてほし
い」というメッセージを込めています。子
作するのも大好きでした。もちろん、
道具の危険さや使い方も教わりましたが、
4才でノコギリを手にし、6才で姉に机
を作ってあげました(笑)。勉強はできな
かったのですが、工作や絵を学校に持っ
ていくと、担任の先生がすごくほめてく
れたのです。その嬉しさがあったから、こ
こまでこれたと思いますね。

教員対象の 研究会も好評です

オリジナル紙芝居を用いた道徳のモデル
授業は8年目を迎えました。その間に道徳
が教科化されたことから、運動本部では、
紙芝居授業後に教員対象の事後研究会も実
施しました。

■ 授業開催日

- 7月12日 山形県新庄市立沼田小学校4年生
および教員向け事後研究会
 - 10月25日 東京都豊島区立池袋第一小学校
2・3年生
- 講師：馬場喜久雄
【全国小学校道徳研究会顧問】

事後研究会では、道徳の教科化に伴う指
導法の変化などを説明するほか、教材とし
て紙芝居が優れている点、その使い方など
もレクチャーします。また、子どもたちの
意見を引き出すアイテムとして、授業でも
使用したカラーカード(通称)を紹介。A
だと思ふ場合は青、Bは黄…というように
色紙を示してもらうことで、発言が苦手な
子どもも、気持ちを表現できます。先生方
からは、「普段は手を挙げない子どもが積
極的で驚いた」という声も。

実際の授業を参観した後に研究会を実施
するため、授業内容と照らし合わせて確認
できると好評でした。

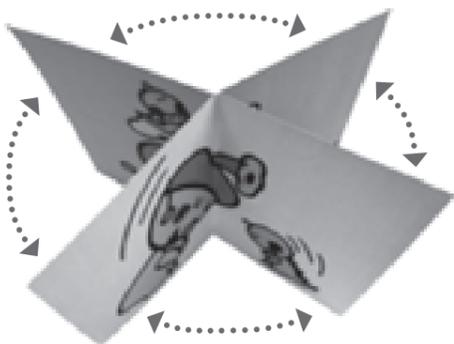


子どもたちのために先生方も日々勉強!

「おはなしメリーゴーランド」

WEBサイト「てらこあん」から
ダウンロードできます。
詳しい使い方や使った先生の
感想も紹介!

4つの絵を貼り合わせ、くるくる回
転して使うエンドレスの仕組み。ど
こから始めてもどこで終わってもOK
です。幼稚園や保育園、ご家庭で、
子どもたちと一緒にハナちゃんとア
カチンのオリジナルストーリーを作り、
子どもたちの豊かな想像力を引き
出してください。



有賀先生の子ども時代

僕は満州で生まれて、終戦後家族で日
本に引きあげました。しばらくして、父
が病気で寝たきりになってしまったので
すが、満州時代の豪快な話を聞くのが
好きでした。父は50才という若さで亡く
なりましたから、道半ばという悔しさも
あったのでしよう。僕には「人生を楽しめ、
自由に生きろ」とよく言っていました。
父親の大工道具をもらい、木っ端で工



〈アカチン〉
恐竜の赤ちゃん。名前は、
ダジャレじゃないよ。

©SHINOBU ARIGA
〈はなのほら ハナちゃん〉
通称ハナちゃん。

キャラクターに弱点があると、子ども
たちは親しみを感じて感情移入しますし、
サブキャラクターが助けたり、励ました
りとストーリー性も生まれます。「ハナ
ちゃん」と「アカチン」を通して、親切を
したりされたりしたときの気持ちを想像
して、心を育ててほしいと思います。